

図書館通信

市貝町立図書館
〒321-3423
栃木県芳賀郡市貝町 市塙147
Tel 0285-68-4380
URL <http://www.library.ichikai.tochigi.jp/>

としょかんのひとりごと ブログはこちら

3月の催しもの

★ホワイトデーいっとくん缶バッジプレゼント

期間：3月6日（金）～3月8日（日）
内容：期間中、本・CD・DVDを借りた方に、いっとくんオリジナル缶バッジ（ホワイトデーバージョン）をプレゼントします。なくなり次第終了ですので、ご希望の方はどうぞお早めにご来館ください。



お問い合わせ 市貝図書館 ☎68-4380

●歴史民俗資料館のイベント

★第38回企画展「縄文の謎」

期間：3月22日（日）まで
※休館日は図書館に同じ
内容：縄文時代の遺物を展示し、栃木県の縄文時代について学びます。



お問い合わせ：中央公民館 ☎68-0020

ツイッターでも情報配信中！



市貝町立図書館『いっとくん』
@ittokun_ichikai



★コミックスの書架が増えます★

2018年の台風被害により、残念ながらコミックスを大量に廃棄することとなりました。以降たくさんの方々のご厚意で寄贈本が増え、スペースにゆとりがなくなってきましたので、新しい書架を増やすことになりました。これからさらに見やすくきれいな書架になると思います。スタッフも定期的に整理をしていますが、館内でお読みになる際は、あいうえお順・巻号順に戻して頂けますようご協力お願いいたします。



★感染症対策についてのお願い★

現在、新型肺炎コロナウイルスやインフルエンザが流行しています。図書館はいろいろな世代の方が利用する場所です。こまめに手洗いをしたり、マスクを使うなど、感染症対策にご協力ください。図書館の玄関に入ってすぐに、消毒用アルコールを設置していますので、ご利用ください。



★YAコーナーが新しくなります★

1階新刊書架奥のYA（ヤングアダルト）コーナーが新しくなります。YAとは大人と子供の中間の世代のことです。短時間でさらっと読みやすい内容を中心に、おすすめ本を紹介しています。YA世代を含め、幅広い方にお読みいただければと思います。スタッフの手描きPOPもぜひ参考にしてください。



図書館カレンダー

3月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31※				

4月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30※		

☐…休館日

※月末資料整理日

★2019年市貝図書館ベストランキング発表★

一般書（小説）

- 1 沈黙のパレード
東野 圭吾 // 著（文藝春秋）
- 2 そして、バトンは渡された
瀬尾 まいこ // 著（文藝春秋）
- 3 愛なき世界
三浦 しをん // 著（中央公論新社）
- 3 ノースライト
横山 秀夫 // 著（新潮社）
- 4 平場の月
朝倉 かすみ // 著（光文社）
- 4 家康②
安部 龍太郎 // 著（幻冬舎）
- 4 ブロードキャスト
湊 かなえ // 著（KADOKAWA）
- 5 傲慢と善良
辻村 深月 // 著（朝日新聞出版）

※貸出数が同じ場合は同順位

児童書



- 1 AIのサバイバル②
ゴムドリco. // 文（朝日新聞出版）
- 2 有害物質のサバイバル
スウィートファクトリー // 文
（朝日新聞出版）
- 3 おしりたんてい ププッキえたおべん
とうのなぞ！
トルル // さく え（ポプラ社）
- 3 おしりたんてい みはらしそうのかい
じけん
トルル // さく え（ポプラ社）
- 4 ポケットモンスターダイヤモンド・
パールアニメ大じてん①
（小学館）
- 5 おしりたんてい ププッキきやまのし
ろいかいぶつ！？
トルル // さく え（ポプラ社）

スタッフのおすすめ

新生活を迎える方におすすめの本

「Presents」

角田 光代 // 著
松尾 たいこ // 絵（双葉社）

春は、出会いや別れや出発で、気持ちが忙しくなりがちです。この本は、私たちが生きていく中で何かしら覚えのある思い出が一つ一つ詰まっています。新しい春に向かって進むその前に、ちょっと立ち止まって自分に向き合えるそんな一冊です。

「ひとり暮らしレスキューBOOK」

成美堂出版編集部 // 編（成美堂出版）

一人暮らしを始める皆さんにとって、住まいづくり、自炊・家事、防災・防犯、部屋探し等、不安や心配は尽きません。「困った！」を減らし、慣れない一人暮らしを快適にしておくために、この本を参考にして新生活へ、レッツゴー！です。

2020本屋大賞候補作からおすすめの本

全国の書店員が実際に読んでいちばんおすすめしたい本を選ぶ「本屋大賞」に10作品がノミネートされました。市貝図書館スタッフが選んだのは……

「ライオンのおやつ」

小川 糸 // 著（ポプラ社）



余命宣告を受けた主人公は、瀬戸内の島のホスピスを選びました。穏やかな風と島の人たちの中で過ごす日々。人生の最期はこうでありたい、と誰もが願うような旅立ち。残った人たちそれぞれの彼女の思い出。最期の瞬間に「ごちそうさま」と言えるように生きていきたいものです。

……さて、どの作品が受賞するのでしょうか？市貝図書館では、10作品全て所蔵しています。先取りで予想しながら読んでみるのもおもしろいですね。本屋大賞の発表は4/7（火）です！

しゅうちゃん の ひ とり ご と



「ん」から始まる言葉は日本語にはありません。だからしりとりでも最後に「ん」の付く言葉を言うと負けで終わりになります。老いとは人生の終わりに向かっていくことだが、そこには病気があり、手足のマヒがあり、認知症だってあるのです。でも、私たちは一人ひとりに終わりがあることを認めたくなくて、永遠なものを求めて毎日を送っているのです。なにしろ、この宇宙にも始まりがあり、終わりがあるのだということ肝に銘じておかなければなりません。

先頃、何回かお葬式が続いた時がありました。今回は、一緒に参列した特養ホームに勤めていた知人からの話を紹介します。95歳の女性が老衰のため亡くなったそうです。その日は身内の人が誰も来ることはなく、知人は親族や社会の冷たさにひとり悲しみを感じながら、線香を絶やさぬようにして朝を迎えたそうです。その話を聞いて私は、これがいちばん立派な死に方なのではと思いました。誰も悲しませる人がいないからです。ある日、私の突然の死の知らせを受けた人たちが、『あいつまだ生きていたのか』と驚くような、長生きをして終わりたいという願いを最近持ちはじめました。

お問い合わせ ☎0285-68-4380